

申請内容明細書

申請場所		階	
責任者		防火管理者	
解除承認を受けようとする行為	概要 (使用場所 使用場面 理由)		
	内容 (名称 使用量 成分 性状 取扱要領)		
	行為者		
	補足事項等		
火災予防上 講じた措置 (欄は該当する ものをレ印で、 アンダーライン 部分には該当す る内容を記入す ること。)	消火器の設置 [___本 位置: _____] 屋内消火栓の準備 [___口 位置: _____] 消火担当者の配置 [___名 位置: _____] 消防計画に定める自主検査 [最新実施年月日: _____] 会場管理計画の作成 訓練の実施 [最新実施年月日: _____] 始業時、終業時の点検等 [担当者: _____] 承認行為のチェック [実施者: _____ 時期: _____] 防災性能あり [幕 敷物 大道具 その他 (_____)] その他 [_____]		

- 備考 1 申請場所ごとに作成すること。
- 2 禁止行為を行う位置、消火器の設置位置等を明記した使用場所の図面を添付すること。
 劇場等及びスタジオの場合は、禁止行為の位置、消火器等の設置位置、消火担当者の位置
 周囲の状況(可燃物からの距離等)、床面の状況(材質、養生の方法等)、舞台上の人の配
 置等を明記すること。
- 3 必要に応じて性能等に関する資料を添付すること。

【申請内容明細書記入要領】

項 目	記 入 要 領
申 請 場 所	<p>申請場所を記入すること。 例：地下1階東側（食品売場） 地下1階惣菜加工場 1階舞台</p>
責 任 者	<p>申請内容に係わる責任者が申請内容を確認し、署名すること。 例：2階フロアー長 一男 劇団 団長 三郎</p>
防 火 管 理 者	<p>防火管理者が申請内容を確認し、署名すること。</p>
概 要	<p>行為の概要（使用場所・使用場面・申請理由等）について記入すること。 例：惣菜加工場において、食品加工のため、ガスフライヤーを使用する。 第2幕第3場（開幕から15分後）の戦場の場面で、演出効果のため、音玉の消費を行う。</p>
内 容	<p>行為の種類及び具体的な内容（禁止行為の名称、使用量、成分、性状、取扱要領等）について記入すること。 火気使用設備器具は熱源により、最大消費熱量（ワット数）等を、炎については炎の長さを、危険物品の場合は品名、数量等を記入するほか、取扱要領等について簡記すること。 例： ア 百貨店等の場合 裸火使用 ガスフライヤー kW ガスレンジ kW 簡易湯沸設備 kW 計 kW 危険物品持込み 天ぷら油 ℓ イ 劇場の場合 裸火使用 危険物品持込み 火薬成分：マグネシウム 薬量： g× 発 点火方法：電気点火（遠隔操作）</p>
行 為 者	<p>禁止行為ごとに行行為者の職・氏名又は行為を担当する者を記入すること。 例： 劇団員 太郎 他、 惣菜加工場従業員</p>
補 足 事 項 等	<p>添付図面、性能等に関する資料及び補足すべき内容について記入すること。 例：禁止行為実施場所付近の詳細は別添え図面のとおりに。 煙火の構造詳細と性状は別添え資料のとおりに。 火薬は、 製の容器に入れて施錠し、車中に保管する。 火薬は、担当者（ 次郎（ 特殊効果社員））以外は取り扱わない。</p>
火 災 予 防 上 講 じ た 措 置	<p>欄は、該当するものにレ印を記入するとともに、アンダーライン部分には、該当する内容を記入すること。 例：レ消火器の設置（ 本 位置：舞台上手及び下手（別添え図面のとおりに。）） レ承認行為のチェック（実施者：防火管理者 時期：毎月初め） レその他（上演中は、常時舞台監督が舞台袖から監視する。）</p>